

Nihongo Network News

2005.3.11発行

No. 49

TNVN東京日本語ボランティア・ネットワークは、ボランティア日本語教室活動を行っている団体のネットワーク（連絡協議会）として、情報交換や活動の活性化を図ることを目的に、1993年12月に結成されました。TNVNの会員はそれぞれの地域で日本語教室活動を通じて、言葉のために日常生活に不自由を感じている外国人などを隣人として支援しています。

TNVN 東京日本語ボランティア・ネットワーク

〒162-0823 東京都新宿区神楽河岸1-1 ☎03-3235-1171

東京ボランティア・市民活動センター メールボックスNo.4

東京都の外国人登録数は35万人を超え、都民の約3%近くを占めています。在住外国人に対し、都・区市行政は地域の状況に応じた行政サービスを行っています。

一方、NGO・外国人支援団体・個人も、色々な分野・角度から生活支援を行っています。日本語ボランティア活動もその一つで、日本語学習支援に重要な役割を果たしています。

ここでは東京都生活文化局の主要な国際化施策について紹介します。

まず、東京都国際交流委員会(*1)です。

一つの事業は「国際交流・協力TOKYO連絡会」(*2)を組織し、東京で活動している民間の国際協力・国際交流団体と共同運営をしています。

「国際化市民フォーラム in TOKYO」～東京の国際化・国際協力を考える～を標題に、2004年2月に『文京区民センター』で、今年も2月19日『調布市文化会館たづくり』で開催しました。外国人の定住化の新時代を迎え、このフォーラムを通して地域の国際化の課題を明らかにし、市民の国際化と一緒に考える企画です。

次に、地域国際化の企画・調整として地域国際化推進検討委員会(*3)があります。

平成13年度「外国人の防災」、平成14年度「外国人にもわかりやすいまちの表記」が検討されました。平成16年度は

現在TNVNの代表として東京都の国際化施策の一部に関わる機会を得ています。この中から東京都の国際化施策の概況を紹介します。

東京都の国際化施策を紹介します

「外国人への効果的な情報提供」について検討が進められています。

在住外国人は日常生活の中で様々な課題に直面しています。ことばの壁やその他の理由で、行政が行う外国人支援サービスの情報がなかなか届かず、多くの方がサービスを受けられずにいます。

一方で多くの外国人支援団体の活動情報も必要な人達になかなか流れません。

災害時等緊急時の外国人への情報提供をどうするか。

◎在住外国人への日本語学習支援の現状

を眺めると東京都内で活動する日本語ボランティア団体は190団体を超えています。[TNVN調査(*4)]

しかし日本語学習を望みながら支援活動の場を知らない人達も多く、場の情報提供が不可欠です。

現在外国人への支援活動は個々の団体が個別に活動している中で、相互にネットワークや連絡会を設けて情報交換などの活動をしている地域が出来ています。

更にネットワークの幅を広げ、相互の立場・活動を理解し、強みを生かし、弱みを補い合う、協働の場づくりに努める必要があります。

行政とNGO等外国人支援団体はそれぞれの立場を超えて協力し、地域住民がお互いに安全で安心の出来る環境を整えることが望まれます。

(梶村 勝利)

●脚注

(*1) 東京都国際交流委員会
都民の積極的な参加と連携で、国際交流、国際協力及び国際的な相互理解等を促進する。
ホームページ、web情報「れすばすTOKYO」、国際交流・協力情報コーナー、国際交流・協力団体情報、東京外国人相談窓口マップなどで情報提供や普及啓発。

(*2) 国際交流・協力TOKYO連絡会
NGO、東京都及び地域の国際交流協会が対等な立場で意見交換や情報を交換し、パートナーシップをつくり、国際交流・協力及び地域国際化を推進。

(*3) 地域国際化推進検討委員会
「外国人都民会議」では、東京に在住する外国人から、さまざまな分野にわたる多くの意見・要望があり、外国人にも住みやすく活動できるまちづくりのための基本的な課題が提示されました。こうした課題に、より専門的な検討を行い、具体的な行政施策を行うために、外国人都民会議に代え、「地域国際化推進検討委員会」を平成13年度に設置。

(*4) 「ボランティア日本語教室一覧2004東京」東京都の助成を受けた。

寄稿

日本語ボランティア活動を通して考える



LTC友の会 代表 渡辺 昌人

長年日本語ボランティア活動に携わって来られたLTCの渡辺昌人さんをお願いしました。

今年で私も79歳になります。海外、国内を含めると、日本語ボランティア歴は約40年ほどになりましょうか。英語の世界が本業ではございましたが、教えられる側から見ると二つとも外国語。「教えることは教えられること」とよく申しますが、正にその通りで、逆に教えられることの方がむしろ多かった様に思います。その最たるものは、言葉の理解だけではなく、異文化、多文化という壁との闘いというか、その認識が全てを左右するということでした。

日本人同士でさえ異文化、多文化なのでから先ずその辺から認識してかかれないと、異国の人達を教えることは難しい。そんなことを私は長い経験から学んだのでした。教えるテクニックだけでは駄目で、人間と人間の生の対峙から全てが始まるのですから容易ではありません。その微妙なコツを学ぶには、現場の長年の体験以外にはないと思います。言葉の知識も勿論、大切ではありますが、それ以上に重要なのは、理屈抜きの肌で感じるのだと思います。肌で会得したもののほど教える現場で役に立つものはないからです。

次にお話ししたいのは、ボランティアがグループを組んだ時の難しさについてですが、皆様も恐らくいろいろな体験をお持ちのことと思います。ボランティアの世界というのは、ご存知の様に個々の自主性ということが重んじられる世界です。従ってややもすると、混乱を招きやすいことは既にご存知のことでしょう。それをどう巧く調整していくかということが重

要な課題。一人一人の思考が異なり、正に異文化の世界と向き合うことですので、容易なことではありません。ただ単に日本語を教えること以上に難しいことです。

「同国人同士でも巧くいかない様では、異国の人にもものを教える資格はない」と言ったのは、あの有名なエドウィン・ライシャワー博士です。彼と親しくしていた私はその言葉に教えられました。

正に至言だと今でも思っております。人間の言葉はその人間そのものから発せられるもの。従ってその人の姿に相手は反応する。

言葉を教えるという場合、ややもするとテクニック論に陥り易いのですけれども、テクニックだけで教えようとする、十中八九失敗することが多いのは、多くのベテランのご指摘の通りであろうかと思います。日本語ボランティアのグループもこれから益々増えていくことと思いますが、多文化への深い認識だけはお忘れになりません様に、この老骨よりお願いして、この文を閉じます。

各グループの皆様、くれぐれもご自愛の上、益々のご尽力をなされます様に祈りながら。



カードで学習支援

まちだ地域国際交流協会／町田市 江上 弘子

まちだ地域国際交流協会 (MIFA) で支援を始めて3年になります。現在は、諸先輩に助けて頂きながら、土曜日クラスのコーディネーターをしています。まだまだ未熟な私ですが、今、色々とオリジナルの支援を工夫しています。そのひとつをご紹介します。

日本語には、反意語、オノマトペ (擬音語)、そして慣用句などの単語や表現が豊富なので、学習者には無理なく勉強してほしいと思っていました。そこで私は、様々に作った「カード」を利用することで、その負担を軽くすると同時に、学習者との『先生と生徒』という関係を壊し、親しみながら日本語支援が出来ないかを考えてみました。

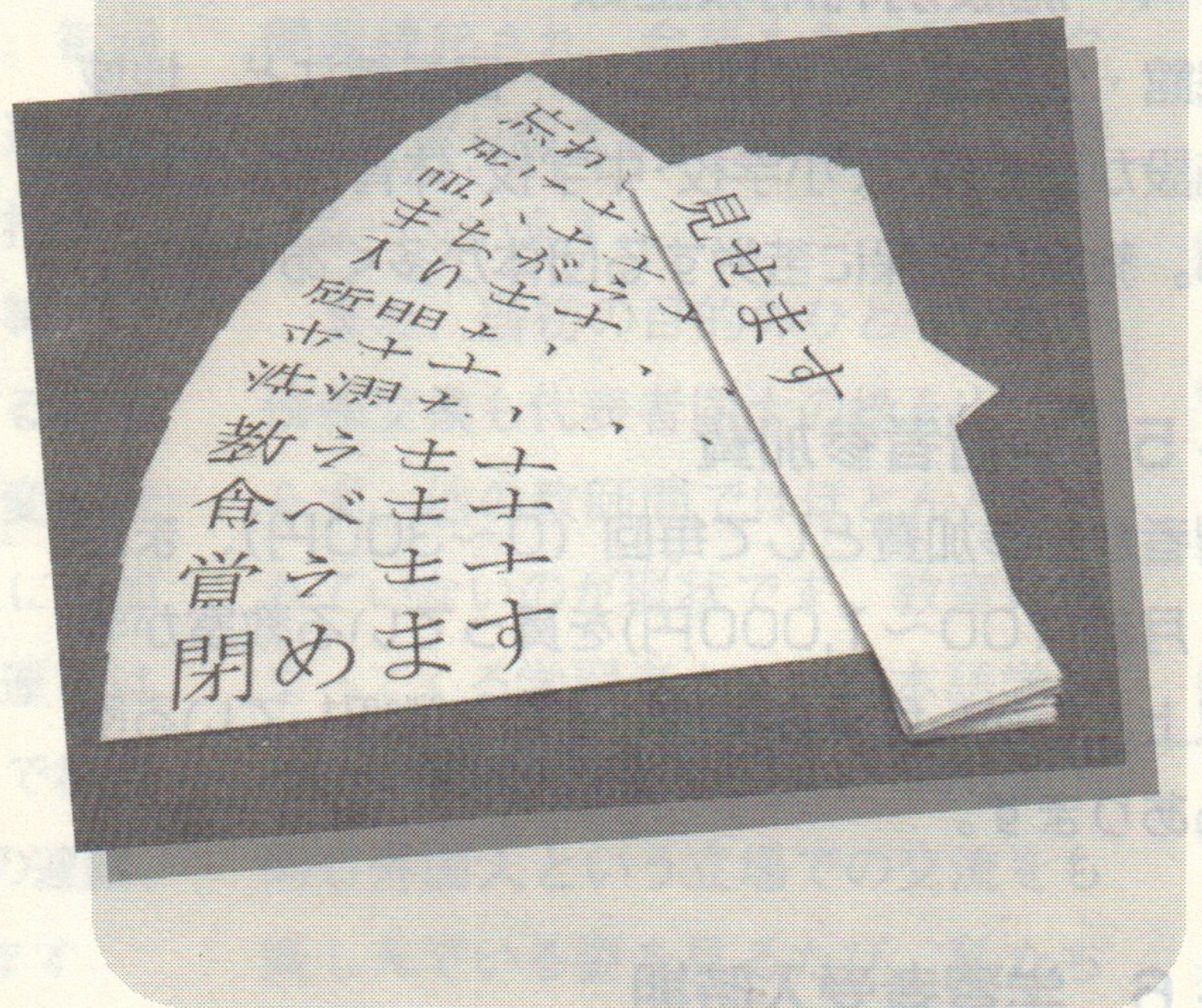
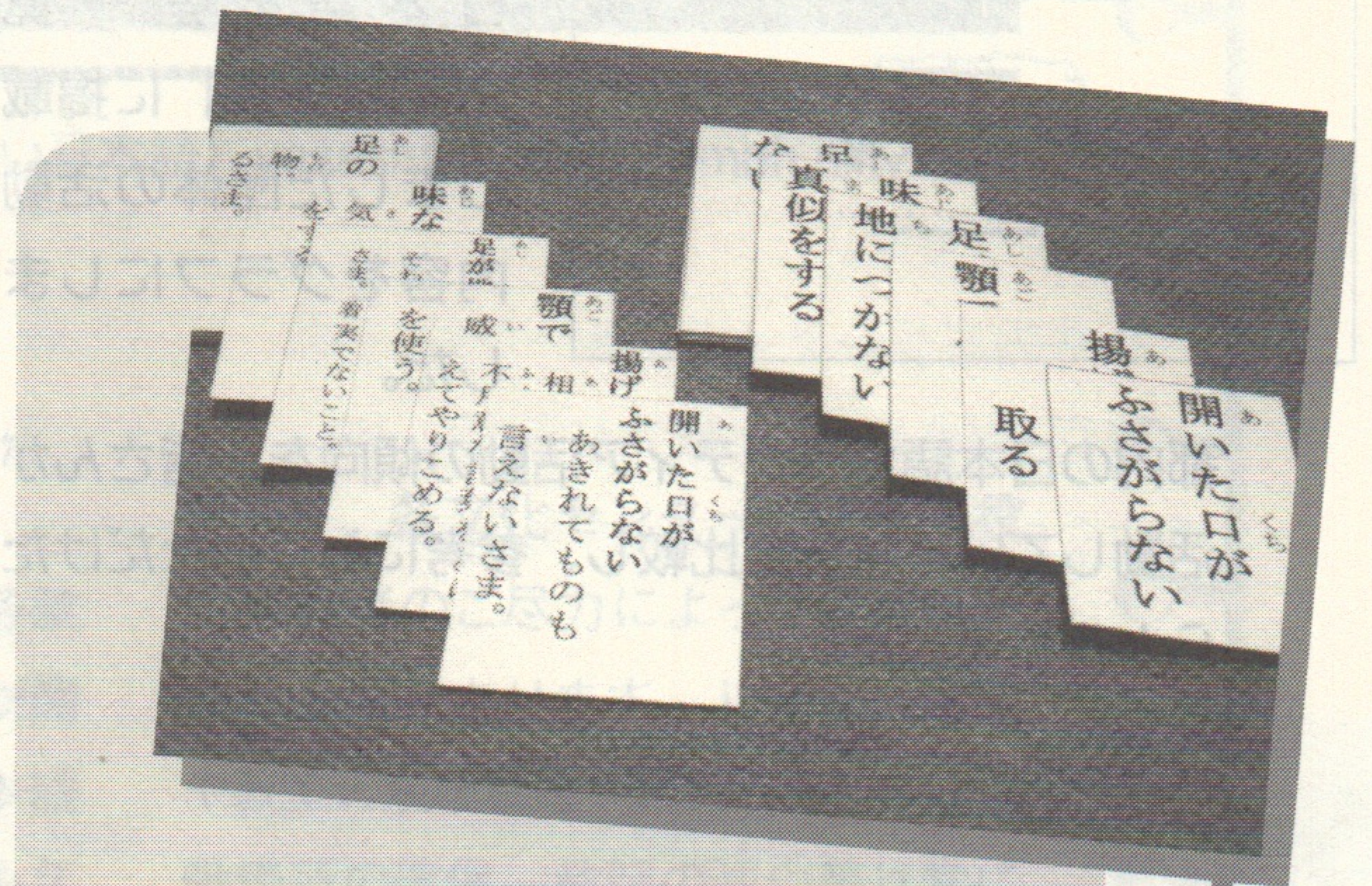
ちょうど、私の学習者は「慣用句を勉強したい」というリクエストがあったので、意味の書かれた読み手のカードと、慣用句だけ書かれた拾い手のカードの2種類を作り、机上の勉強だけで終わらないようにゲーム感覚で支援が出来ないかと考えてみました。

慣用句の「カード」の場合、読み手が慣用句の入る部分を抜かした例文、もしくは意味を読んだら、拾い手である学習者は慣用句だけ書かれたカードを取り、読んでもらいます。意味を覚えたら、場面を設定して文を作ってもらうところまでやります。この時、口頭で文を作っ

てもらってもいいですし、ノートに書かせてもいいと思います。勿論、支援者はその慣用句が正しく使われているかいないかを確認し、フィードバックする必要があります。また、学習者にその文について色々と質問をすることで、書かれた場面を利用して、より具体的に分かりやすく説明したりイメージさせたりすることが可能です。出来れば、学習者には多くの日本語を使ってほしいので、たくさん質問をして、支援者は自分のことについて極力話さない

ようにします。この方法は、学習者の会話力や筆記力を養い、支援者は学習者が望むスキルアップの期待に応えられるような支援へと、自由にアレンジが可能です。また、マンツーマン・レッスンでもグループ・レッスンでも有効です。

このようにカードを使うと、「話す、聞く、読む、書く」の4技能全てを網羅する勉強法が出来ますし、何より学習者と一緒に楽しむことで、『先生と生徒』という関係から『支援者と学習者』という関係を作り上げるチャンスが出来るといことが、一番の利点ではないでしょうか。



「カード」は、使い方で支援を効率よく、楽しくすることが出来ます。テキストだけで飽きないように工夫すること、日本語を勉強する学習者にストレスを多く感じるような負担を軽くすることも、支援者である私の役目だと思います。「どんなことをしたら、学習者は笑顔で日本語を勉強してくれるか。」お互いに国境を越え、人種を超え、言葉を越えた縁で知り合えた者同士です。私も楽しく、気持ち良く支援をしたいので、これからも「カード」を使ったり、様々な工夫を凝らして、オリジナルの日本語支援をしていこうと思います。

ボランティア日本語教室の活動-2



前号(No.48)に引き続き、「ボランティア日本語教室一覧2004東京」に掲載しました団体の活動内容をグラフにしました。

都内の日本語ボランティア活動の傾向を、皆さんが活動している状況と比較し、参考にさせていただけたらと作りました。

図-4 施設別利用教室数

区民館・公民館・区民センター・図書館など、地域の施設が最も多く、小学校・中学校・体育館などが少ない。教室の確保に苦勞する団体が多くあります。

図-5 学習者参加費

学習者から参加費として毎回(0~300円)、または月額(100~1,000円)を貰っている教室が半数以上、しかし色々な事情で高額を徴収している団体もあります。

図-6 学習者受入時期

ほとんどの教室が何時でも受け入れています。学習希望者は自分の状況に合わせて参加が可能になっています。

図-7 子ども連れと保育室

子ども連れで学習を希望する人が多数おられますが、子どもを保育室に預けて学習出来る場所が非常に少ない。また子ども連れを「可」「相談に応じる」としている所がかなりありますが、学習者は集中してレッスンを受けられる事が望まれます。

「ボランティア会費」「ボランティア受入時期」「ボランティア参加資格」は次号掲載となります。

図-4 施設別利用教室数

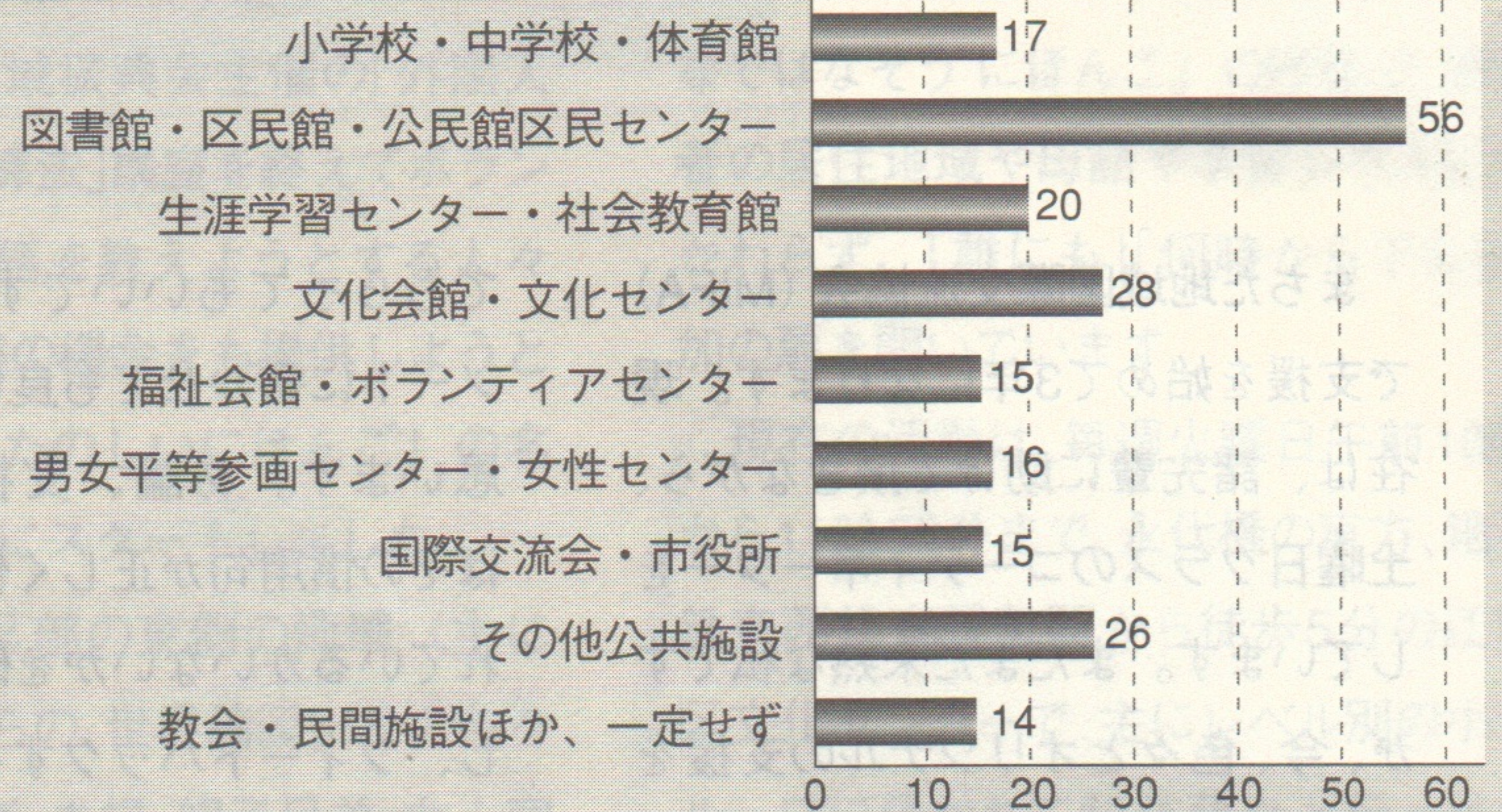


図-5 学習者会費

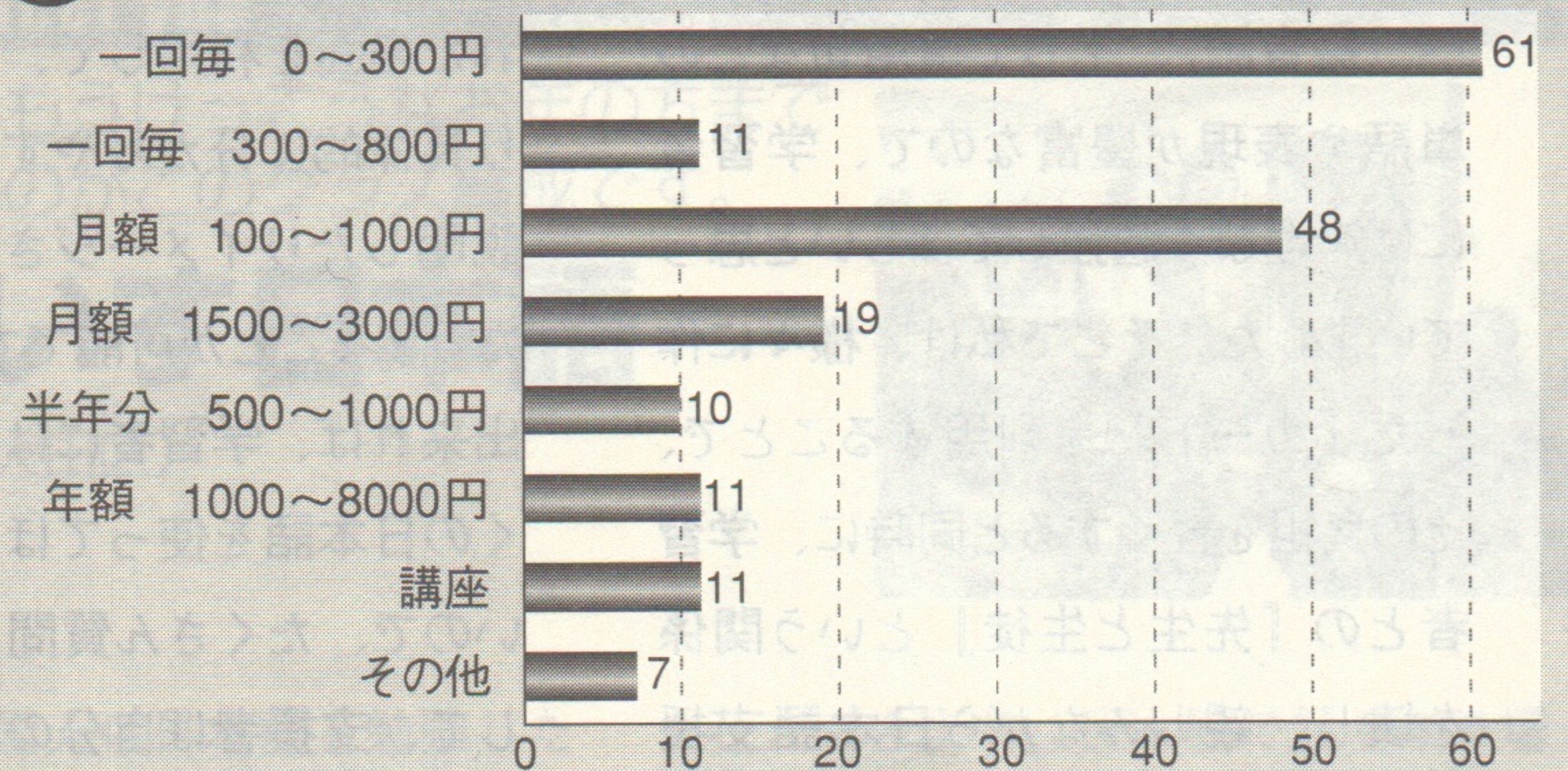


図-6 学習者受け入れ時期

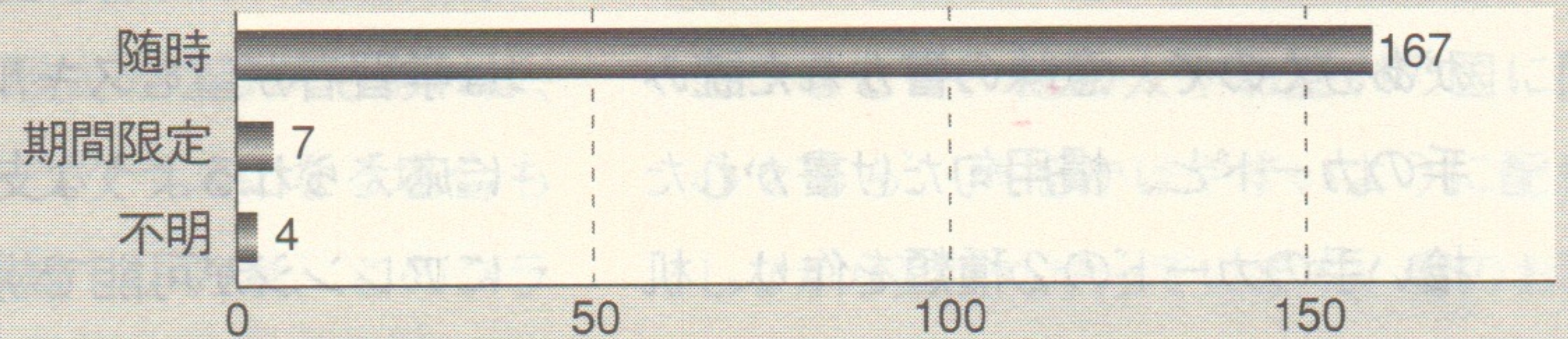
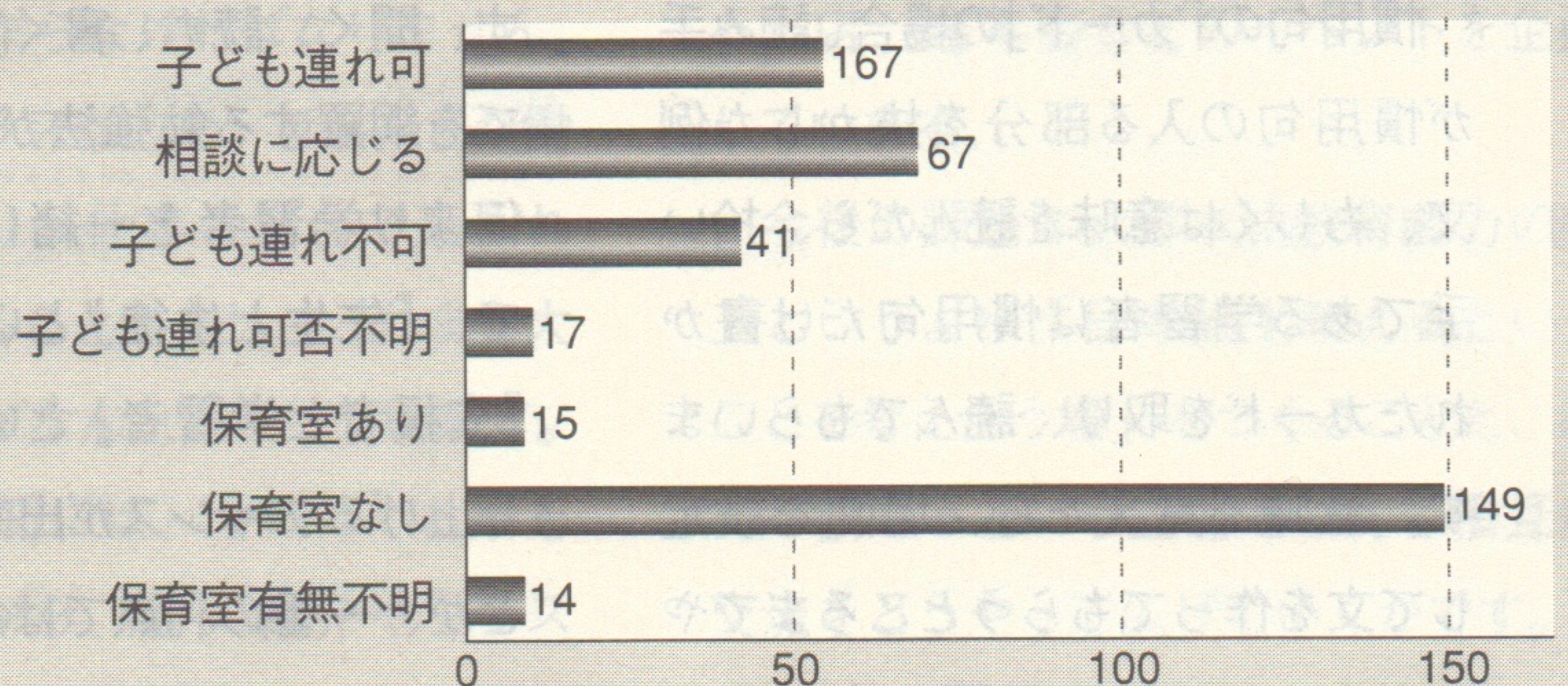


図-7 子ども連れと保育室



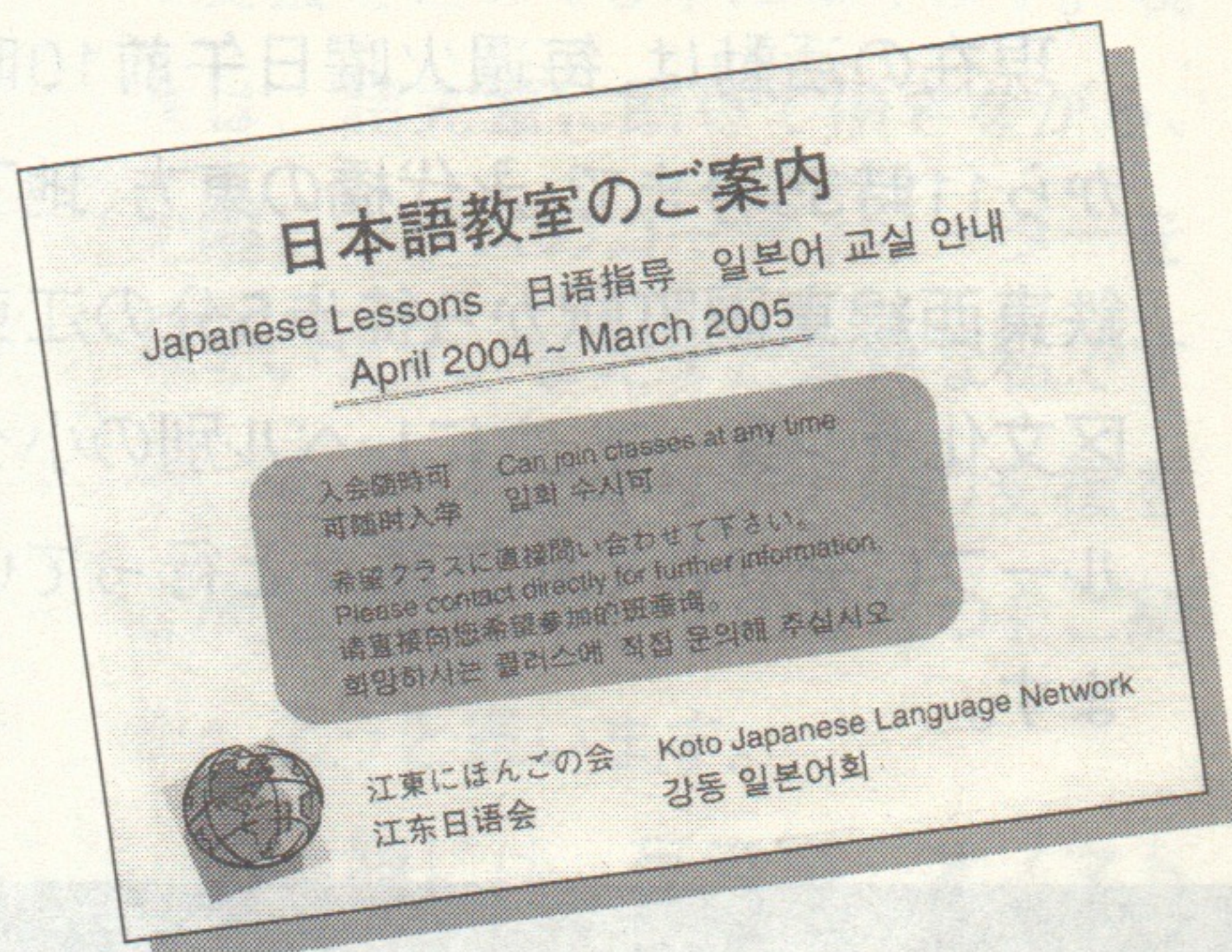
ネットワーク紹介

東京都内で地域に密着した日本語ボランティア教室のネットワークを48号から紹介しています。今回は「江東にほんごの会」に登場して貰いました。



江東にほんごの会

会 留美子 (やさしい日本語) yasashii-nihongo@mbh.nifty.com



●発足

「江東にほんごの会」は、当時、すでに独自で外国人へのボランティア日本語指導を行っていた4団体が参加して、1993年2月に発足されました。各団体は活動施設や教室の成り立ちも違い、それまでは横のつながりもなかったことから、代表者が例会をもち、情報交換と相互の協力体制を築いていくことを当初の目的としました。

●現在までの歩み

発足当初は、ほぼ毎月例会が行われ、まず手始めに4教室共通の案内パンフレットを作成しました。B5版ワープロ打ちの簡単なものでしたが、その後、教室数も7ヶ所に増え、各教室の地図に英語・中国語・韓国語訳も加わり、今年度版は発足当時とは比べ物にならないほど立派な案内パンフとなっています。このパンフは、区役所の外国人登録窓口、各文化セ

ンター、等に置かれています。

会が発足した年の7月には、各教室の教師を対象に第1回研修会が開催されました。この研修会は日本語指導の著名な講師を招き、現在も年4回定期的に行われています。毎回テーマ(文法項目)に添って進められる研修会は、日頃の日本語指導での問題点、授業の工夫・充実等、それぞれキャリアや年代も異なる各教室の日本語教師にとって、大変参考になっており、会を重ねるごとに参加者も増えています。研修会の運営は各教室が一年ごとに持ち回りで担当し、研修内容の決定、講師との連絡、7教室への告知等を行っています。

1994年6月には、江東区内で国際交流・協力活動をしている団体のネットワーク「江東区国際友好連絡会(I.F.C.)」の参加団体として登録しました。それぞれ年一回開催の「江東区民まつり」「国際交流のつどい」では、教室の案内をパネル展示し、学習者への各イベント参加の呼びかけ等も行っています。

●今後の課題

案内パンフレット作成、日本語指導研修会の開催、他の国際交流団体とのつながり…、会発足から10年余りで様々な活動を展開できるよう

になり、各文化センター、江東区役所担当者のご尽力によって改善された点多々あります。しかし、施設や教室の規模に違いはあるものの、活動場所の確保、教師の減少等は常に問題提起され、今後もネットワークとして取り組まなければならない課題となっています。

また、当初の目的のひとつである情報交換も代表者同士の枠を出ておらず、他の教師間ではほとんどなされていないのが現状です。教室に集まってくる学習者たちが日本語学習という本来の目的とともに、同じ国・同じ外国人という立場での交流をも楽しんでいる姿を見るたび、私たち日本語教師も指導の向上にとどまらず、個々の教師、各々の教室間とのコミュニケーションを持つことにより、ますますネットワークとしての意義が高められるのではないのでしょうか。

さて、皆さんの地域・教室は…!?



「江東区民まつり」に参加

nice to meet you

「誰にも」「何時からでも」参加の扉を開いています。

みんなではなそう にほんご

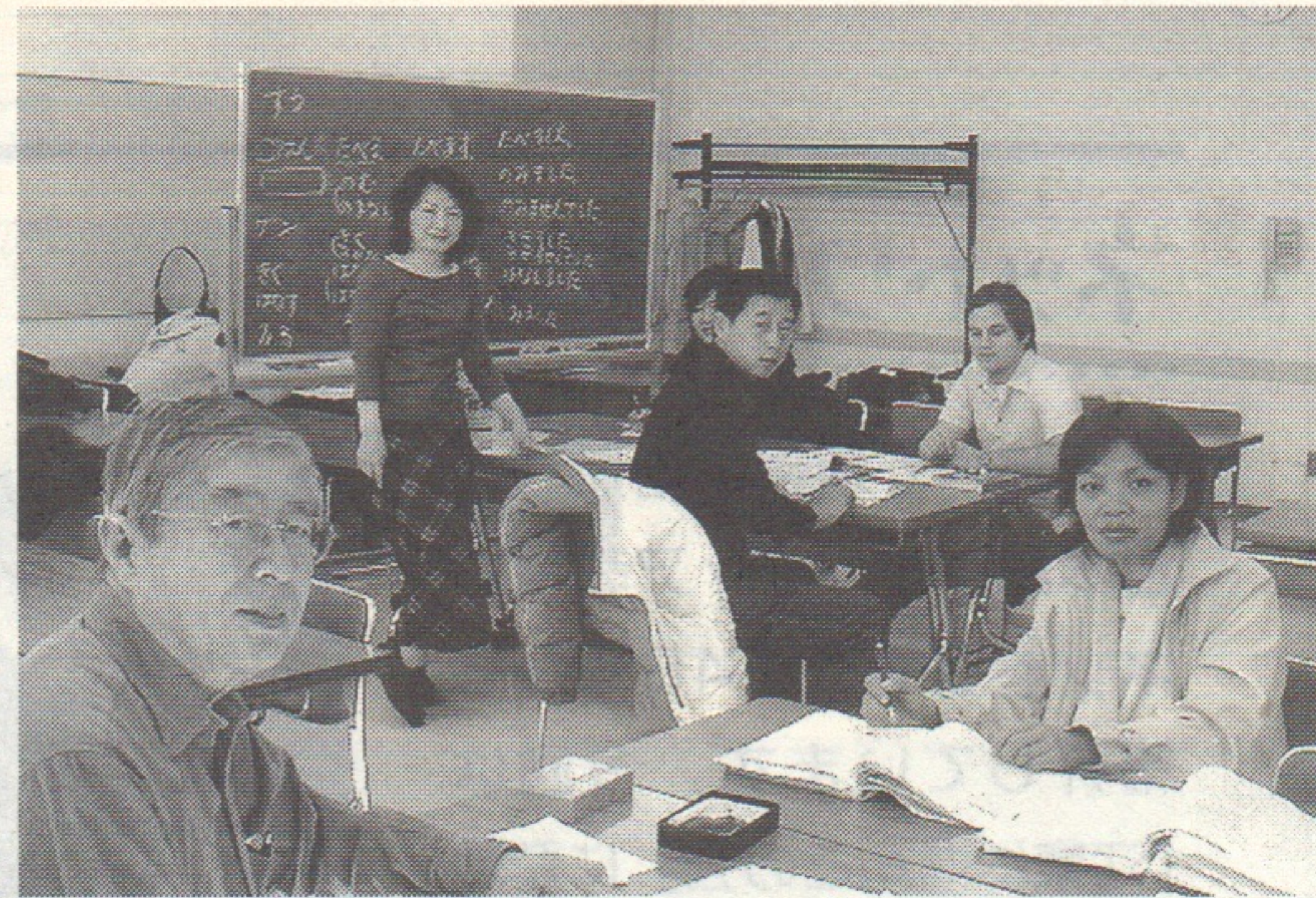
成松 幸俊 (江東区)

「東京23区で、行政が在籍外国人に対して何らかの日本語支援を行っているのは20区に達している (栖原;TNVN ニュース43号)」そうです。行っていないのは……江戸川、足立、そして江東の3区のように。

私共のボランティアグループは、その江東区地域で、夫々独立に活動している主な8グループの中の1グループです。

当グループは、外国語として日本語を習おうとする人々に広く学ぶ機会を提供し、併せて、(財)江東区地域振興会主催の「外国人への日本語指導法」講座を終えてボランティアで日本語を教えようとする人々に、最初の実践の機会をも提供しようという趣旨で「たのしいにほんご」の名でほぼ20年前にスタートしました。

以来、東京区部の東側の地域 (主に大川の東) からの、世界諸国出身の様々な職業;独身者・夫婦・親子兄弟・友人同士等々の人々の参加があり、今も「みんな



ではなそう にほんご」の呼称で、学習者の居住地域や母語や学習レベルにかかわらず、「誰にも」「何時からでも」参加の扉を開いています。

現在の活動は、毎週火曜日午前10時から11時55分まで、永代橋の東方、地下鉄東西線東陽町駅から徒歩5分の江東区文化センターで、主にレベル別の小グループに分かれて和気藹々に行っています。

会員団体紹介

Nice to Meet You

大田区の日本語ボランティア活動のほとんどが区の施設山王会館を利用しています。各曜日それぞれ別の団体が独自のやり方で会を運営。私たちうぐいす日本語教室は、そのなかの木曜日夜7時から9時までの2時間、日本語の授業を提供しています。それこそ、小学生からもうけっこうなお年の方まで、日本語を勉強したいと言って訪れた人には、なんらかの形で日本語の勉強のお手伝いをしてきました。

「うぐいす日本語教室」と銘打って



nice to meet you

小学生からもうけっこうなお年の方まで一番難しいのがこのクラス編成です。

うぐいす日本語

国嶋 洋子 (大田区)

るので、外国人は日本語を勉強したいと来るわけですが、教えるほうもベテランもいれば、ボランティアをはじめたばかりの人もあります。クラスは、1対1のプライベート形式のクラスもあれば、4~5人のグループクラスになる場合もあります。一番難しいのが、このクラス編成です。レベルチェックも大切ですが、学習者が何を求めてきたのか、また、教える人の特性なども考えてクラスを作らなければなりません。夜のクラスなので、ほとんどが働いており、仕事の都合で来られなくなることもあり、これまた大変ですがなんとかやっています。休憩時には、サロンでお茶をのみながら、新人紹介やクラスやレベルを越えてのおしゃべりに



花がさきます。日本語で話をする場としても大事ですが、日本語能力で話ができなくならないように、上級者に通訳してもらったりして、コミュニケーションをとり、他の人やお互いの国に関心を持ち、声をかけやすいように配慮しながら楽しくやっています。春のお花見、夏の七夕パーティー、秋の「日本語でスピーチ」(スピーチ大会に代表出場)、大田フェスタでのフリーマーケット出店、忘年会などのイベントを企画しています。

今後の課題は、日本語教育能力の向上というより「日本語を教えるということを考え合う場」をつくることと、教える教わるという立場をこえて相互の交流をどうやって広げていくかです。

学習者の声

日本語上達の秘訣は
楽しい会話

馬志強 中国
西東京にほんご教室ZINIC (西東京市)

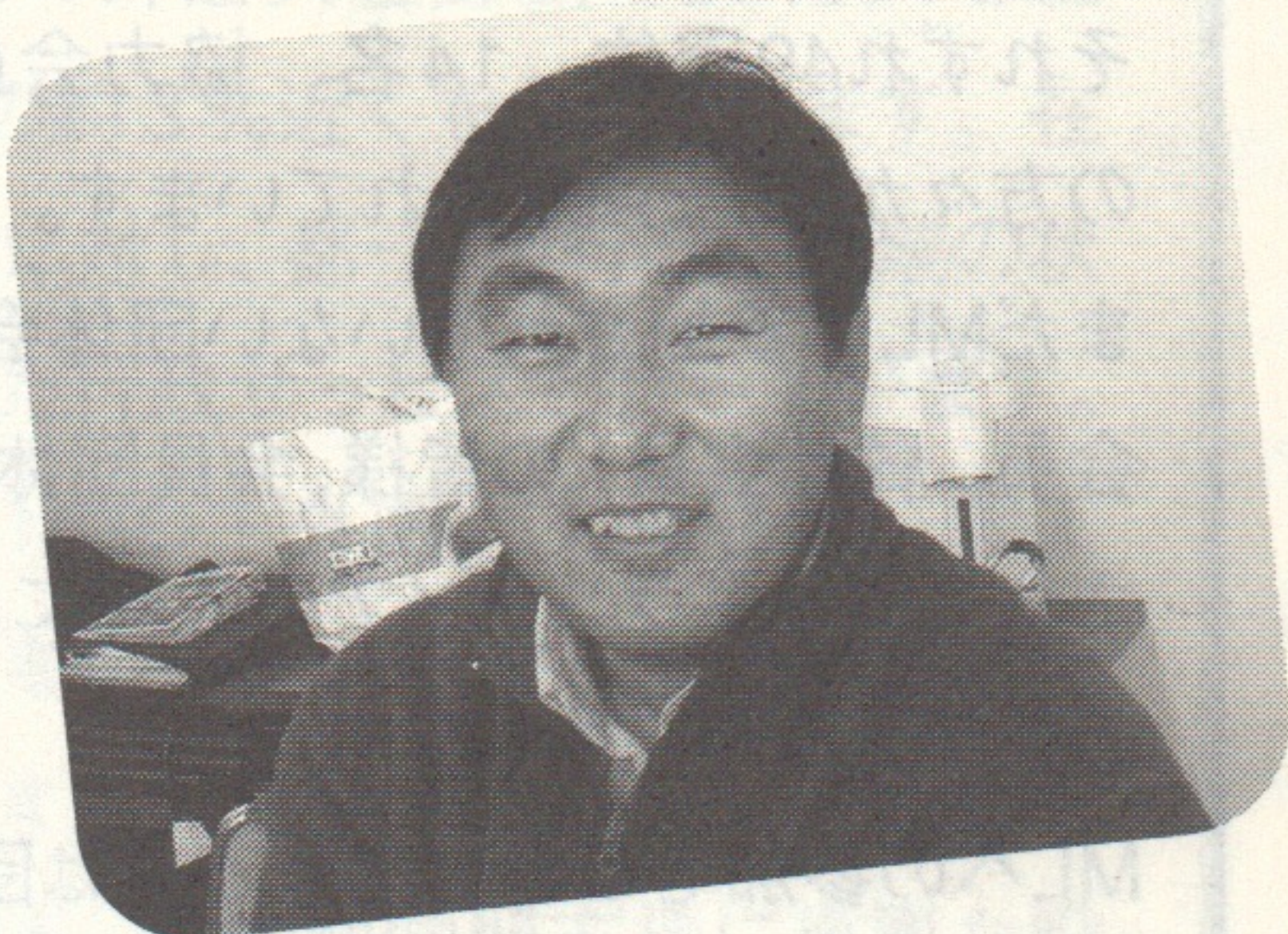
のですぐ忘れてしまいます。例えば、会社の書類やインターネットなどで目に付いた単語は意味は分かるけど使い方が分かりません。ネイティブスピーカーとの会話が必要です。親しい日本人がいればいいですが、場所は日本語教室しかありません。土曜日は必ず教室へ通って、できるだけ悩みを解決しようと努力しています。悩みを話して、先月から、教室の人と日曜日も会話をしています。

妻と娘は、今カナダにいます。2人とも勉強中なので、毎月仕送りをしています。2月3日からカナダに行くので会えるのがとても楽しみです。3年前の夏休み、2人が日本にきました。一緒に日本語教室に通いました。

今年は、仕事で中国に帰ることも多いです。日本にいる時は日本語教室に通って、もっと日本語が上手になりたいと思います。

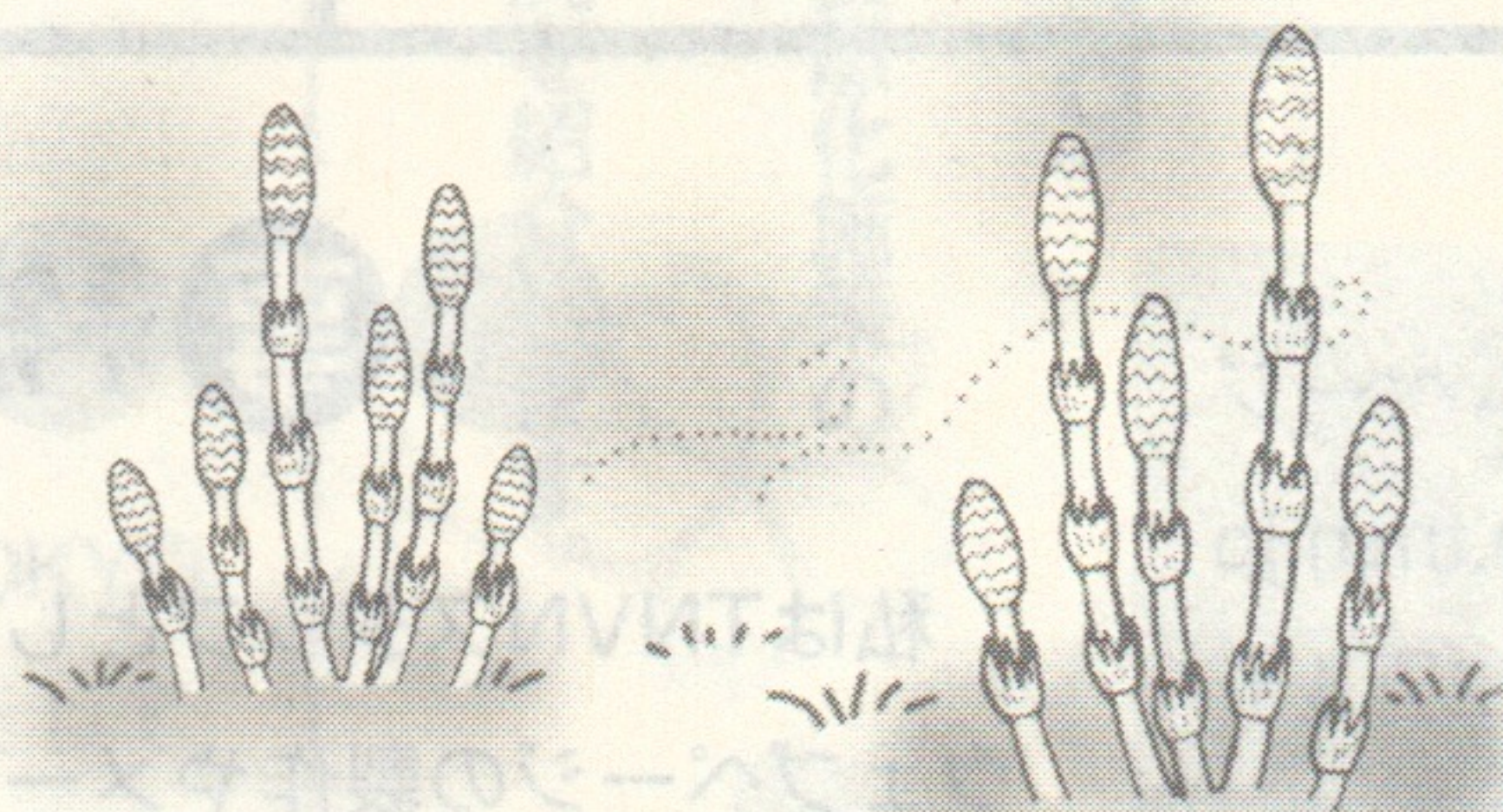
日本に住んで6年になりますが、まだ日本の生活に慣れたとは言えません。平日は仕事で忙しいので、仕事以外で日本語を使う機会は少ないです。土、日しか日本人と話をする機会がありません。

今、一番の問題は日本語がなかなか上達しないことです。日本語で難しいのは会話です。「聞く」「話す」ということに自信がないです。日本語の文法というよりも、知っている単語が少なく、聞き取れない、分からない言葉が多いです。解決策は…。自分で覚えた単語は、日本人との会話で使わない



ボランティアの声

ニックネームは「コーチョー」。
冊子を個人作成
岩佐幹彦
江戸川ユニオン日本語教室 (江戸川区)



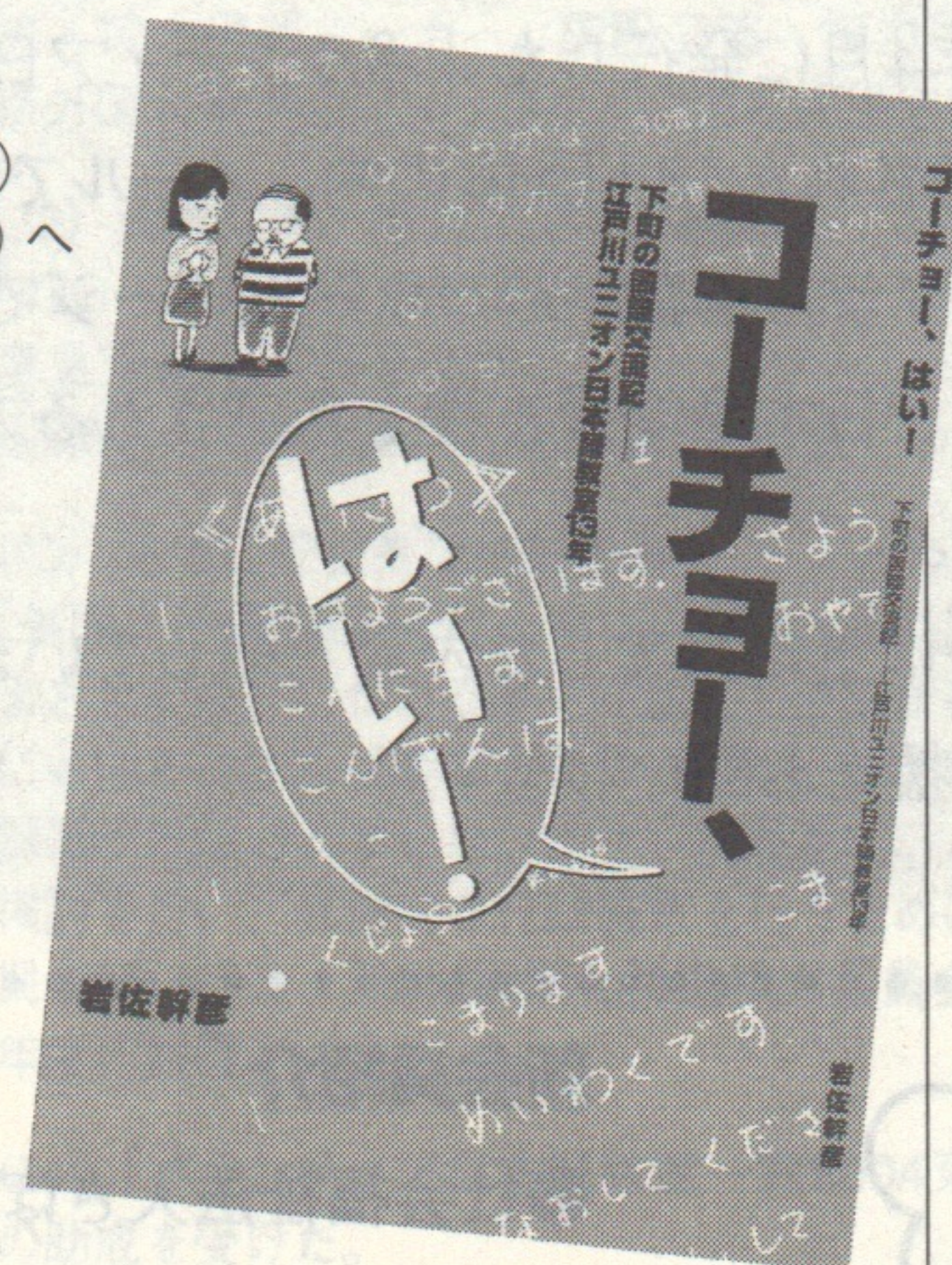
14年前に江戸川の地で、外国人労働者の労働条件や生活相談を行っていた地域の労働組合(江戸川ユニオン)が開設した日本語教室で私は日本語ボランティアを始めました。私1人、学習者が10人前後でした。初めての学習の日、学習者に教師役の私を「皆さんのコーチョー先生です」と紹介したのが、組合の責任者の方でした。ニックネームは一般に、名前が山田さん、山崎さんであればヤマさんなどと呼ばれることが多いのですが、……「コーチョー」と呼ばれてみてもスタッフは私1人、他には誰れもいません。

教室の責任者兼、会場確保(予約・設営)、教材調達(運搬)、コピー代徴収、後

片付けと、まさに「よろずや」です。また、学習者にとって「コーチョー」とは、何のことかわかっていません。なにかあれば「コーチョー」「コーチョー」であります。

そんな、こんななか、学習者と一緒に花火見物にでかけたり、家(部屋)に招かれたり、仕事先の話の聞いたりして交流を深めているうちに、ニックネームとして定着していきました。一昨年末に教室の責任者の退任を機に、13年間の交流を小冊子にまとめました。

●一冊500円
(A5版、86P、送料込)
申込は直接本人(岩佐)へ
TEL/FAX
03-3682-8528



東京日本語ボランティア・ネットワーク事務局

下記の時間通り活動しています。

◆日時：毎週金曜日

第1、第3、第5 金曜日／午後2時～4時

第2、第4 金曜日／午後2時～6時

◆場所

東京ボランティア・市民活動センター
JR、地下鉄（東西線・有楽町線・南北線・大江戸線一出口B2b）

飯田橋駅下車

セントラルプラザビル 10F ロビー

◆日本語ボランティア相談窓口

日本語ボランティアの活動についてのご相談・ご質問にベテランスタッフが対応しています。電話でご確認の上、気軽にお越し下さい。

またメールでのお問い合わせにもお応えしています。

ご意見もお待ちしています。

〒162-0823 東京都新宿区神楽河岸1-1
東京ボランティア・市民活動センター
メールボックス NO.4

TEL：03-3235-1171

（呼出：金曜日活動時間帯のみ）

FAX：03-3235-0050

E-mail：webadmin@tnvn.jp

URL：http://www.tnvn.jp/

募集

TNVNへの入会をお待ちしています

詳細はTNVN事務局まで「活動・入会案内」を郵便でご請求下さい。（送料90円切手同封）

TNVNスタッフ募集！！

TNVNの事務局スタッフ・ニュースレター編集員となってTNVNスタッフと一緒にボランティアでご協力いただけませんか。TNVN事務局までご一報をお待ちしています。

ニュースレターの記事大募集！！

ニュースレター編集担当

までご連絡下さい。



**TNVN会員のための
メーリングリスト(ML)に
ご参加下さい**

会員メンバーが相互に情報交換をする場や、各地で色々な講演会、研修会、催し物などの情報を共有するために、TNVNではML：tnvn-all@freeml.comを作り、ネットワークとしての機動性を高めるようにしています。参加されるメンバーを"e-member"とします。

"e-member"には正会員（団体）、協力会員（個人）、正会員団体で活動しているメンバーにご参加をいただきます。現在、それぞれ49団体、14名、協力会員14名の方々がMLを活用されています。

まだMLに参加されていない団体会員（正会員、賛助会員）の皆様、会員団体で活動されているボランティアの方々に、MLへの参加をお願い致します。

MLへの参加をご希望される方は団体名、氏名、メールアドレスをTNVNアドレス：webadmin@tnvn.jpまでご連絡ください

**TNVNのホームページは
東京中心で活動している
日本語ボランティア教室を
紹介しています。**

日本語教室ガイド」へのアクセスが多く、日本語学習支援を希望する方やボランティアとして参加を希望する方などが、ホームページを介して直接各団体・教室へ参加の問い合わせをしています。都内で唯一の情報源として大いに活用いただいています。グループ名、電車路線、地域名、曜日、時間帯等から検索出来ます。2004年4月に発行した「ボランティア日本語教室一覧2004 東京」に掲載された161団体の内、メールで問い合わせを受ける団体117、クラス総数266がホームページで検索出来るようになっています。日本語学習支援を希望される方々への情報としてご紹介下さい。

今後は更に充実した内容を期しています。これからもTNVNへのご支援をお願いします。

TNVNのホームページ
URL：http://www.tnvn.jp
には最近の半年で2万4千件のアクセスがありました。

なかでも「ボランティア

事務局便り

私はTNVNスタッフとしてウェブページの製作やメーリングリストの管理など、IT関連全般の業務を担当しています。この業務を始めたころは、まだインターネットも普及しておらず、まさに手探りで様々な人たちの手をお借りしながらウェブページを公開したことを覚えています。

その後、2000年のIT革命を経て、多くの人たちがインターネットを利用できるようになり、連絡手段にメールというツールが当然のように使

われるようになりました。その結果、世界との垣根が低くなり、海外に在住している方からの問い合わせも受ける頻度が高くなってきているように感じます。

私は皆様のように直接学習者と接する機会はありませんが、少しでも学習者がボランティアの方と連絡しやすいように、また、ボランティアの方同士の情報交換がしやすいように、今後も裏方としてお手伝いさせていただきます。

A.O



新会員紹介

●社会福祉法人さぼうと21

会員数（2005年2月15日現在）

正会員：80団体 協力会員：71名

賛助会員：5団体

●編集／岡田 美奈子、小川 伶子、梶村 勝利、木村 茂、床呂 英一、西岡 暉純、林川 玲子

●レイアウト／鶴田 環恵